

鷗友

東京都立白鷗高等学校同窓会 鷗友会

〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-22 都立白鷗高校内 TEL 03-3844-4284 FAX 03-3844-4284 振替 東京 00180-7-3052 費用 振替 東京 00100-8-34659 一般用

花 無心にして蝶を招き

鷗友会理事長 本間 皓司

良寛さんに「花 無心にして蝶を招き 蝶 無心にして花を尋ね 花 開くとき蝶来たり 蝶 来るとき花開く 吾もまた人を知らず 人もまた吾を知らず 知らずして帝則に従う」ということばがあります。「帝則に従う」とは自然に天地の調和の姿に従っているということでしょう。何ともおおらかな心地になります。

仏教に「布施」(ほどこし)という言葉があります。お金や物、ところ、ことば、行動、態度などで相手によかれと思うことをして差し上げることですが、この布施という行動について道元禅師は「布施とはむさぼらざることなり。むさぼらずというは、世にいうへつらわざるなり」と教えています。私たちは誰しもが欲望の心をもっています。欲望があるからこそ私たちは生きてゆくことができます。しかしその欲望の心が大きくなりすぎて「むさぼり」となり、手に入れるために相手に媚びへつらい何としても手に入れ「これはわたしのもの」という心から、なかなか手放せないという醜さが出てきます。ですから、そんな思いで手に入れたものを他に渡す(布施)となると、ついつい「これをやるのだから、こういう見返りがあつたつていいじゃないか」と返礼を期待したり、名声を高めたいと願つたりするところがでできます。こんな施しは相手に負担となり、反感を招きます。ですから本当の布施とは、布施する人、物、受ける人の三者が清浄でなければならぬし、布施したことを忘れなさいと教えられています。良寛さんのうたう花と蝶の間には無心の施しがあります。この無心の施しの心が人間社会の経済、つまりは自分が利を得ようとするなら、相手の利をも一緒に考え、相手を思いやる世の中になつたらば良いと思います。

平成二十五年年度

鷗友会総会の御案内

本年度の会場は、東京スカイツリーの開業で賑わう浅草に設定しました。今年も、総会終了後、食事をしながら和やかな楽しい時間をお過ごし下さい。どうぞお誘い合わせの上、大勢の皆様のご出席をお待ち申し上げます。

記

日時 平成二十五年七月七日(日)

十一時三十分より(受付開始午前十一時)

会場 浅草ビューホテル 4階「飛翔」

台東区西浅草三二一七一

電話〇三三三八四七一一一

会費 八千五百円

(白61回～白65回卒業の会員は五千円)

舞踊 藤川 澄十郎(白57回 渡辺 奈央子)

★ご出席の方は郵便局の振替用紙に会員番号、氏名、「総会出席」と明記の上、**6月17日(月)必着**で会費をお振込み下さい。振替口座番号 東京 001000181346659 加入者 鷗友会

府一女五十七回卒業の皆様へ

本年、私どもは八十八歳、米寿を迎えました。

同期会は開きませんので、鷗友会総会の会場でご一緒にお祝いしたいと思います。皆様、お誘いあわせて、鷗友会総会にお申込みをしてくださるよう、お知らせ申し上げます。 57回に組 林 きぬ子

白鷗祭のお知らせ

9月21日(土)・22日(日)に母校で開催されます。

鷗友会をもっと広く知っていただくこと、昨年同様、3階の鷗友会事務室に、記念誌・卒業アルバム・旧制服をはじめ多数の資料を展示し、お茶とお菓子を用意してお待ちしております。是非、ご来室下さい。

鷗友会の支援に感謝!

校長 若井 文隆

早いもので、あっという間に一年が過ぎ、新しい年度を迎えました。鷗友会の皆様には、日ごろより本校の教育活動に御支援と御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

四月九日に平成二十五年度の入学式を挙行し、附属中学校に百六十人、高等学校に二百三十七人の生徒を新たに迎え入れました。入学した生徒一人一人が大きな夢と希望を胸に、白鷗生としての自覚と誇りをもって活躍してくれることを大いに期待しています。

さて、例年、鷗友会から奨学金の支給をいただいておりますが、昨年度は二十名を超える生徒が応募しました。どの生徒も将来の夢や希望が綴られており、大変内容の濃い理由書ばかりでした。管理職と担当者が慎重に審査し、九名の生徒を推薦し、六月の下旬に校長室にて土屋副理事長より生徒一人一人に奨学金が手渡されました。鷗友会の温かい支援に改めて感謝申し上げます。受け取った生徒も同窓会の期待に応えるために、充実した学校生活を送ることを約束しました。

また、昨年度から東京都教育委員会が次世代リーダー育成道場を開設し、多くの高校生が短期留学を経験する制度ができました。本校からも、三人の生徒が選ばれ、語学研修を兼ねて三月の上旬から約一ヶ月アメリカに滞在しました。この短期留学者三名に対しても、鷗友会から奨学金を支給していただきました。生徒はこの研修を通して、改めて世界に目を向け、リーダーとなるための資質と能力を身に付けてくれたものと確信しています。

結びに、鷗友会の総会では、第一高女時代の卒業生も多く出席されましたが、改めて

白鷗の伝統と、卒業生の母校への期待や愛校心、誇りを強く感じた次第です。

これからも鷗友会の皆様全員が我が母校として自慢できる学校であり続けるために、教職員一同で魅力ある教育活動を邁進していく所存でございます。そして、改めて鷗友会の御支援に感謝申し上げます。

◆白鷗高校・附属中学校◆

◇平成25年度 客員消息◇

退職

河合 敦 (日本史)

転任

横田 雅博 (数学)

福野 一旗 (英語)

比嘉 竜也 (保体)

君垣 規子 (養護)

井川 康子 (化学)

関根 春幸 (英語)

着任

伊藤 隆則 (社会)

赤上 武 (数学)

長田 裕之 (英語)

竹元 理展 (保体)

相原佐知子 (養護)

◇進路部より◇

進路指導主任 瀧 島 昭 克

中高一貫3期生も無事卒業し、この春から新たなステージでの生活が始まりました。1期生・2期生の進学結果を見て、自分たちも続くことができののかと不安に駆られながらも表の通り、頑張つて結果を出すことができました。

国立難関大学である東京大学4名、東京工業大学1名、一橋大学1名の計6名の合格者をはじめ、国公立大学40名、早稲田大学25名、慶應義塾大学11名、上智大学6名、東京理科大学24名合格という大きな合格結果となりました。卒業生本人の頑張りと保護者の方のサポートがあつてこそこの結果であると思います。国公立大学36名、私立大学140名、短期大学3名、将棋プロ1名となり、それぞれの進む道に一步踏み出しました。次回挑戦となった浪人生は46名です。1年後の報告を楽しみに待ちたいと思います。

	1期生(浪人生)	2期生(浪人生)	3期生(浪人生)
東京大学	5	2 (1)	4 (1)
京都大学		(1)	
東京工業大学	3	3	1
一橋大学	2	3	1
早稲田大学	37 (2)	39 (5)	25 (2)
慶應義塾大学	15	11 (3)	11 (1)
上智大学	14 (1)	8 (2)	6
東京理科大学	36	28 (6)	24
学習院大学	3 (6)	14	4 (2)
明治大学	36 (2)	30 (10)	32
青山学院大学	14 (1)	14	10 (1)
立教大学	27 (3)	22 (2)	20 (2)
中央大学	16	16 (3)	12 (2)
法政大学	19 (3)	30 (4)	30

【中高一貫1・2・3期生の皆さんへ】

卒業時にお知らせした通り、夏休みに主として中学生に対する講習・補習のお手伝いボランティアを募りたいと思います。詳しくは白鷗高校のホームページ「お知らせ」に6月中旬以降アップする予定です。

平成25年度 鷗友会評議員会

平成25年4月20日(土) 午後1時30分
於 白鷗高校2階会議室

今にも泣き出しそうな空模様の中、新評議員4名を含む44名の方がお集まり下さり定刻通り開会しました。

司会の松浦副理事長による開会の辞に続き、ご出席くださった須永修爾副校長と附属中の造作聡美副校長が「東大進学率にこだわらただけなく、「行きたいところに進学できる学校」を目指し、また「日本文化概論」を中心に伝統文化への理解を深められるよう指導を行っていく」とお話しくださいました。また、欠席された本間理事長の代行として、土屋副理事長が挨拶の中で卒業生の交流および在校生への支援継続のためにも鷗友会を長く続けていけるよう努めると意気込みを語りました。

規約により理事長代行の土屋副理事長が議長となり、次の項目を審議しました。

一、平成24年度 事業報告 土屋副理事長

・総会

・白鷗祭参加

・奨学金 鷗友会奨学金9名・東京都次世代リーダー研修生3名に交付

・学業奨励 図書カードを新入会員230名

・皆勤者27名に贈呈

・規約改定

二、平成24年度 決算報告 荒井理事

三、平成25年度 事業計画 間野監事

・総会(7月7日 浅草ビューホテル)

・白鷗祭参加(9月21、22日)

・奨学金 鷗友会奨学金・東京都次世代リーダー研修生

・法人化検討

四、平成25年度 予算案 荒井理事

以上の議案は満場一致で承認されました。

五、その他

△支部紹介▽ さいたま支部 野村路子さん、川崎支部 坂本久悦さん、湘南支部 有賀幸子さん、東葛支部 中野愛彦さんから、各支部の活発な活動の様子が報告されました。

・出席された新評議員の山中篤さん、横山達也さん、橋本彩加さん、伊藤菜々子さん、昨年度に引き続き今年度も出席くださった白64回の渡邊荘太さん、田中佑佳さん、前田利徳さん、葛生啓介さん、南澤雅人さん、五十嵐幸輝さんの紹介とご挨拶がありました。

・新理事となられた三澤敏宏さん(白25回)、本間慶喜さん(白31回)、関谷真理子さん(白48回)、新事務局職員となられた立崎さゆりさん(白43回)の紹介後、駒崎理事より本年度総会のゲストである舞踊家・藤川澄十郎(白57回 本名・渡辺奈央子さん)についてご紹介いただきました。

・意見交換の場では、鷗友会理事および評議員として長年ご尽力いただいた林きぬ子先生より、規約に則り本年度で評議員をご勇退される旨をご挨拶いただきました。先生が表舞台から去られることを惜しむ声会場からいくつも上がり、名誉評議員を新設し林先生になっていただいていたどうかとのご意見もいただきました。理事会で積極的に検討する旨をお答えし、松浦副理事長の閉会の辞により閉会となりました。

白58回 野崎 絵 美



《新理事挨拶》

▽このたびは理事を務めさせて頂くことになりました。甚だ微力ではありますが、白鷗中学及び高校、並びに鷗友会のさらなる発展に少しでもお役にたつべく、精一杯努力致しますので何卒よろしくご願ひ申し上げます。

白25回 三澤 敏 宏

▽今までの経験や知識が鷗友会発展の一助となればと、理事としてお手伝いをさせて頂くことになりました。母校に恩返しができる機会を頂き嬉しくまた光栄に思います。よろしくご願ひ申し上げます。

白31回 本間 慶 喜

▽40代を目前に、鷗友会理事として母校に関われる機会を得られ、大変光栄に思っております。私の身の回りにも母校を愛する人が多いため、多くの声を集めながら努めたいと思っております。

白46回 関 谷 真 理 子

◇新評議員(白65回)

1組	山中 篤	横塚 力
2組	横山 達也	横塚 力
3組	伊藤 菜々子	田中 健太
4組	鈴木 茜音	谷内 祥歩
5組	萩原 聡士	橋本 彩加
6組	林 本 寿美	御子 柴花歩
	塚 本 寿美	八鳥 愛加

『卒業五十二年目の母校訪問』

白13回 中山 寛 子

平成二十四年十一月八日、古希記念のクラスの後、母校訪問が実現しました。訪問は授業時間のことを考え午後三時より。参加人数は十八名。須永副校長と事務局の石井

さんがご案内下さいました。

正門に集合後、まず事務局に寄せていただき、荷物を置いて見学開始。音楽室、和室、多目的ホール、図書室と最後は柔道剣道場と和太鼓の練習を見学することができました。

歩みを進めるにつれ昔の記憶が徐々に蘇り、趣のあつた講堂での講演会、体育館の雑巾がけ、生物の時間の蛙の解剖のことなどが思い出されました。

在学中には創立七十周年をむかえ、当時の皇后陛下の行啓がありました。

担任は英語の石川先生でいつも真珠のネックレスを身に着けられ、鼻にかかった美しい発音で私たちを教えてくださいました。

現在は「日本文化概論」が必修とのこと、地域の文化活動にも積極的に参加していることも知りました。

校舎、制服、校章、周辺の様子すべてが変わっていましたが、目の前には私たちの時代に比べすべてが豊かになった若々しい中・高一貫校としての白鷗高校がありました。

生徒の皆さんには進学も勿論大切ですが、先生方に深く教えを請い、友達との友情を育んでほしいと思いました。

伝統を積み重ねる学校として鷗友会があり事務局で力をだして下さる方がいらっしゃるのは大変有難いことと皆で話し合いました。須永先生、石井さん有難うございました。

『白63回 成人記念同窓会』

白63回 御 供 聡 史

2013年1月14日成人の日には記録的な大雪に見舞われました。第63回卒業生は、この日、共に記念日を祝おうと東校舎に集まりました。交通網がほぼ機能しない中114人も同窓生が駆けつけました。玄関にて、制服ではなく、スーツや振袖に身を包んだ同窓生の姿を見る

と、卒業後たった二

年にも関わらず各人老けた、いや、立派に大人へと近づいているのだと互いに感じました。しかし一度声をかけると、中高時代と何も変わらない当時の顔のままでした。再会に際し、感極まって涙をこぼすもの、タイムラグを感じさせないようにごく自然に当時の感覚を取り戻すもの、ただただ爆笑するもの、その瞬間は様々でした。

会自体は、ご出席していただいた先生方や元生徒会長から挨拶をいただき、懐かしの指揮伴奏コンビと共に校歌を斉唱しました。しかし、2、3番は鼻歌まじりになってしまいました。思い出の写真を集めたスライドショーをみたり、先生方に出品していただいた景品をかけた大抽選大会を行いました。

ごく短い時間でしたが、一同久しぶりの白鷗の空気にリラックスし、懐かしの話題や鉄板のネタに盛り上がりつつありました。改めて、6年ないし3年を過ごした「白鷗」の存在の大きさを実感致しました。

最後に、今回本企画を実施するにあたってご尽力いただきました、鷗友会のみならず、校長先生をはじめとする先生方、また企画に協力・参加してくれた同期、ご協力していただいた保護者の皆様、本当にありがとうございます。



